

レギュラトリーサイエンス

REGULATORY SCIENCE

2014/5/24 [SAT] 10:00-17:00

参加無料

慶應義塾大学 芝共立キャンパス
東京都港区芝公園1-5-30 2号館4階460大講義室

事前申し込みは不要です。
当日、会場へ直接お越しください。

主催：日本環境変異原学会
協賛：慶應義塾大学薬学部・日本薬学会

アクセス：・浜松町駅（JR山手線／JR京浜東北線）徒歩10分
・御成門駅（都営地下鉄三田線）徒歩2分
・大門駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄大江戸線）徒歩6分

10:00-10:10 開会の辞 青木 康展（国立環境研究所/日本環境変異原学会会長）
はじめに 世話人 小島 肇

10:10-10:55 特別講演 国立医薬品食品衛生研究所における
レギュラトリーサイエンスの実践

川西 徹（国立医薬品食品衛生研究所）

10:55-12:30 一般講演 日本のレギュラトリーサイエンスに関わる国際機関・組織の紹介

小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所） 海外レギュレーションの最近の動向

小野寺 博志（独立行政法人医薬品医療機器総合機構） ICHの紹介と最近の動き（安全性トピックを中心に）

武居 綾子（有限会社 イカルス・ジャパン） ILSI HESIの紹介と最近の動き

宇野 芳文（田辺三菱製薬株式会社） IWGTの紹介と最近の動き

本間 正充（国立医薬品食品衛生研究所） 環境変異原学会レギュラトリーサイエンスWGの紹介と最近の動き

13:50-15:30 一般講演 日本のレギュラトリーサイエンス発展に向けた提言
－食品安全委員会を例に－

小泉 直子（前食品安全委員会） 食品の健康影響評価に係わる諸問題

林 真（公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター） レギュラトリーサイエンスの課題

福島 昭治（中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター） リスク評価における問題点

菅野 純（国立医薬品食品衛生研究所） 評価と管理の分界に関する考察

山崎 洋（関西学院大学名誉教授、元IARC） 日本と海外の評価委員会の比較

15:50-16:50 パネルディスカッション レギュラトリーサイエンスを考える

小泉 直子、林 真、福島 昭治、菅野 純、山崎 洋

16:50-17:00 おわりに 世話人 笠松 俊夫